

TAMA CINEMA 通信



TAMA CINEMA FORUM

TAMA映画フォーラム実行委員会 〒206-0025 多摩市永山1-5 ベルブ永山(永山公民館内)
代表:042-337-6661 直通:080-5450-7204 <http://www.tamaeiga.org/>



特別上映会

モンサントの (マリー=モニク・ロバン監督) 不自然な食べもの

今だから観て、一緒に考えたい、これからの「食」



企画者からのメッセージ

同作は、遺伝子組み換え作物市場の世界シェア 90% を誇るグローバル企業・モンサント社の歴史や実態を、証言・取材に基づいて描くドキュメンタリーです。自然界の遺伝的多様性や食の安全、環境への影響、農業に携わる人々の暮らしを意に介さないモンサント社のビジネス。生物の根幹である「タネ」を支配し利益ばかりを追求する現在の「食」の経済構造に強い疑問を投げかけています。

毎日の食べ物は生き方を選ぶということ。そして、知ることによって守れる未来があるということ。42カ国で公開され、大きな影響を与えた、「食」ひいては「いのち」めぐる世界の構造を暴く、今こそ見て頂きたい作品です。

『モンサントの不自然な食べもの』で投げかけられていることは、今後の私たち日本人の「食」をどのようにしていくか、ということだと思いました。

作品を観て、どう受け取り、どう捉えるかは人それぞれですが、より多くの方々に観て知っていただき、一緒にこれからの「食」について考えていただけたらと思います、上映会を企画いたしました。

トークのゲストにはテレビやラジオや書籍でも活躍されている料理家の枝元なほみさんと warmerwarmer 代表で在来種国産種や有機生産者を守り、育てる活動をしている高橋一也さんをお招きします。

モンサントという企業のドキュメンタリー作品の上映会ではありますが、このお二人のお話しによって、きっと今の私たちへと結び付く手がかりになることと思います。質疑応答の時間なども考えておりますので、是非多くの方にご参加頂きたいです。

また、日々料理をする機会が多く、これからの日本人を育てている最中の女性たちに、少しでも観て、知っていただきたいと思い、保育付き上映も行います。今だから観て、一緒に考えたい、これからの「食」。ということで、この上映会を通じて、何かを得ることができたり、考えたり動き出すキッカケになると嬉しいです。(矢部)

日時・会場

2013年6月8日(土)

ベルブホール

(多摩市立永山公民館)

(ベルブ永山 5F・京王永山駅・小田急永山駅下車徒歩約2分)

スケジュール

10:30-12:18 第1回上映

12:20-13:00 ゲストトーク

「これからの食とわたしたち」

枝元なほみ氏 × 高橋一也氏

14:00-15:48 第2回上映

15:50-16:30 ゲストトーク

「先祖から受け継いで来た日本の種」

高橋一也氏

17:30-19:18 第3回上映

*全席自由席・各回入替制です。

*開場は各回 15分前です。

*スケジュールは変更になる場合があります。



ゲスト：枝元なほみ氏

チケット

前売：大人(高校生以上) 1,000円

当日：大人(高校生以上) 1,200円

こども(小・中学生) 600円

*支援会員、障がい者と付添いの方1名は当日600円です。



5/26 (日) 配信内容

第13回 TAMA NEW WAVE グランプリ & ベスト女優賞 W 受賞

『かしい狗は、吠えずに笑う』特集、

ゲストに出演の mimpī* β (みんぴ) さん、岡村いずみさん！ 撮影秘話に迫る！

『TAMA CINEMA CHANNEL』は、「TAMA CINEMA FORUM」に関する情報をお届けするインターネット配信番組です。インターネット環境があれば、無料でご覧いただけます。今までの放送すべてご視聴出来ます。
<http://www.ustream.tv/channel/tama-cinema-channel>



前回の放送で会場を提供して頂いた聖蹟桜ヶ丘自家焙煎コーヒー豆店「tak beans」、コーヒーを飲むための2階スペースが完成し“完成記念?!”として、今回はその2階より放送。友達の家遊びにきたような感覚で楽しく収録ができました。今回もご協力感謝です。

内容は、劇場公開記念として『かしい狗は、吠えずに笑う』特集、そして特別上映会『モンサントの不自然な食べもの』のお知らせ、「TAMA って最高！」コーナーでは永山近隣にあるオーガニックカフェ『Affidamento Cafe』をご紹介します。情報盛り沢山の内容でお送りさせて頂きました。

まず、昨年度の第13回 TAMA NEW WAVE でグランプリとベスト女優賞を獲得されました渡部亮平監督の『かしい狗は、吠えずに笑う』の劇場公開を記念し、ゲストに主演の mimpī* β (みんぴ) さんと岡村いずみさんのお二人をお迎えしました。

この作品は、本映画祭の他にもびあフィルムフェスティバル「エンタテインメント賞(ホリプロ賞)」&「映画ファン賞(びあ映画生活賞)」受賞、福岡インディペンデント映画祭2012「120分部門グランプリ」&「FIDFF2012 最優秀賞」受賞など国内映画祭賞レースを総なめ、現在はドイツの映画祭、ニッポンコネクションにて6/4-6/9 上映と世界に羽ばたいています。監督のこだわりやこの作品に出会った経緯、撮影秘話を中心にお二人にお話を伺いました。

女優賞を受賞した mimpī* β さんには、普段のミュージシャンとしての活動、初めての俳優体験、この映画のエンディングテーマを提供された想いなどをお聞きしました。最後の質問は、お二人のプライベートな面が伺えたものになり、UST をご覧になった方はスクリーンで観たい気持ちになるはず！

新コーナー「TAMA って最高！」では、オーガニックカフェ Affidamento Cafe をご紹介。場所は特別上映会が行われるベルブ永山や、京王・小田急線の永山駅から徒歩12分ほどのところにあります。実行委員の女子4人でお邪魔し、プチ女子会気分取材。落ち着いた雰囲気のかつろげる店内と、身体に優しく美味しいメニューにテンションが上がりました。6/8の『モンサントの不自然な食べもの』特別上映会などの際に、永山に来られたらぜひ立ち寄っていただきたく思います。(清水)

『かしい狗は、吠えずに笑う』の劇場公開は6/22 - 6/28

連日21:10~レイトショー (オーデトリウム渋谷にて)

東京上映決定!!

かしい狗は、吠えずに笑う

2013年6月22日~28日 連日 21:10~ 上映

オーデトリウム渋谷
前売り券劇場にて絶賛発売中



Affidamento Cafe

営業時間：11:00 - 17:00 定休日：月曜日

tel : 042-400-6669 fax : 042-400-6415

<http://affidamento-cafe.com/>

〒206-0024 東京都多摩市諏訪 1-48-17 T・Oビル 1F

テラスのみペット同伴可 / WiFi (無線 LAN) プロジェクター
 ギャラリースペース駐車場有り (5台)



『シンプル・シモン』（アンドレアス・エーマン監督）

この映画の舞台はスウェーデン。IKEA で馴染みの深い、オシャレな街。シモンの住む家の壁紙から何からなにまでおしゃれなのです。その、オシャレ感がまた物語のファンタジー性を引き出している要素の1つであると思います。ポップな映像。ジャンクな色合い。そう、毒も潜んでいるわけです。今ならどこでも手に入る、輸入菓子の甘すぎて、ジャンキーな…、いかにもカラダに悪そうなお菓子。ちなみに、『シンプル・シモン』を観て具合が悪くなることはありません。

そして、ストーリーも自分のせいでお兄さんを失恋させてしまったことを悔いて、お兄さんのガールフレンドを探しに行く旅に出かけるという、健気でピュアなシモン。アスペルガーという障害から、普段、仕事と家の往復しかしない彼の行動は本当に大きな一歩であるわけです。

人類が月面に初めて降り立ったくらいに！そう。そんなシモンがいつも、パニックになると閉じこもる場所は宇宙船のようなドラム缶の中。

そして、見どころの1つは、シモンがお兄さんにあてがおうとした女性はシモンに興味を持ち、何度となく接触を試みようとする度に突き飛ばされ…。その姿はまるで『カエルの王様』さながらです。【といっても、カエルの王様は女がカエル（男）を突き飛ばすのであって、女が突き飛ばされるわけではない。という…】その、女性もまた健気で泣けてきます。

そんなピュアなシモンの一生懸命な行動が皆を振り回し、最後はシモンが大事な宝物を見つける。

とても心があたたかくなる、そんな、オトナのための童話のような映画でした。

（田名辺）

特別上映会レポート

情熱のピアノニズム

“生きる喜び”に満ちた時間

ミシェル・ペトルチアーニ 知る人も知らない人も



4月13日（土）に開催した2013年最初のTAMA映画フォーラム特別上映会（会場：ベルブホール）では、『情熱のピアノニズム』（マイケル・ラドフォード監督）を上映しました。カンヌ国際映画祭の特別招待作品で、音楽ドキュメンタリーとしては日本でも異例の大ヒットとなった話題作です。今回は、多摩での上映が全国最後にスクリーンで鑑賞できる機会となり、たくさんの方に参加いただきました。なかには遠方からお越しの方やリピーターの方もいらっしゃいました。

『情熱のピアノニズム』は、1999年に36歳で夭折した天才ジャズピアニスト、ミシェル・ペトルチアーニのドキュメンタリーです。彼の力強く繊細なピアノ演奏の魅力や、これぞジャズメンともいべき全速力で駆け抜けた一生について、家族や仲間たちのインタビューに沿って描いています。

ミシェル・ペトルチアーニは生まれつき骨形成不全症を抱えており、成人しても身長は1メートルほどでした。音楽一家に生まれた彼は、幼少時からジャズを貪るように聴き、音楽的センスと演奏技術を磨いていきます。そして、単身渡米後にフランス人として初めてブルーノート・レコードと契約。世界的な人気を獲得します。

パルテノン多摩でもミシェル・ペトルチアーニの公演が決まっていたそうですが、彼はそれを果たせずに亡くなってしまったのだと聞きました。きっと当時のことを憶えている方も多くいらっしゃるのではないかと思います。彼は日本でも数々の名演でたくさんの音楽ファンを魅了しました。いまでもBlue Note Tokyoでのライブを収録したCDは人気の高い名盤のひとつになっています。

マイケル・ラドフォード監督自身が「映画をつくることになるまで彼のことをあまり知らなかった」と告白していますが、ミシェル・ペトルチアーニを知らない人が観てもさまざまなことを感じられる普遍的な作品に仕上がっています。

たくさん撮りためられたホームビデオから伝わる、彼が全身で表す生への肯定と生きる喜び。食欲で前向きで活発な言動に触発されてか、会場の雰囲気がとてもにこやかに温かい、ポジティブなものに感じられました。（渉）





お知らせ
コーナー

次回特別上映会は 7月 27日 (土)

会場：ベルブホール
作品は現在選定中です。お楽しみに。

第 14 回 TAMA NEW WAVE 作品募集中

日本映画界に新風を送り込む新しい才能の発見を目的とした中・長編コンペティション、TAMA NEW WAVE は、今年秋に開催される第 23 回映画祭 TAMA CINEMA FORUM にて開催される第 14 回 TAMA NEW WAVE コンペティションに向けて、作品を募集中です。

応募方法はホームページにてご確認ください。

応募締め切り：6月 28日 (金)

皆様よりたくさんのご応募をお待ちしております。

支援会員制度のお願い

“実行委員やたまシネマ隊として参加するのは難しいけれどTAMA映画フォーラムを応援したい”

そんな方はぜひ「支援会員」としてとしての応援をお願い致します。

[支援金寄付 個人会員]

一口1000円 ご協力いただいた方は、映画祭パンフレットの贈呈などの特典もございます。

郵便振替番号 00160-5-541123

加入者名 TAMA映画フォーラム実行委員会
(ご不明な点はお問い合わせ下さい)

第23回映画祭TAMA CINEMA FORUM

今年の映画祭は11月23日(土・祝)から12月1日(日)まで開催予定です。

現在は映画祭でどんな作品を上映しようかと企画案を練っている段階です。今年の映画祭ではどんな映画が上映されて、どんなゲストが来場するのか…。

そして、第5回目を迎える日本で一番早い(!?) TAMA 映画賞はどんな作品・受賞者に贈られるのか。皆さん、どうぞお楽しみに！



第 4 回 TAMA 映画賞授賞式より

映画祭新実行委員を募集します

映画好きの方、イベント好きの方、ぜひ映画祭実行委員として映画祭の運営に参加してみませんか。ご希望の方には個別で説明会を実施いたしますので、事務局にお問い合わせください。

たまシネマ隊を募集します

実行委員としての活動は難しいけれど、映画祭の期間のみならお手伝いしたいという方は、たまシネマ隊としてぜひご参加ください。

たまシネマ隊の募集説明会は9月頃から行います。詳細は後日ホームページの方で発表いたします。

こちらもご利用ください ▼

TAMA映画フォーラム実行委員会ホームページ www.tamaeiga.org/

@tamaeiga (最新情報をフォロー) www.facebook.com/tamaeiga (facebookページに「いいね!」で参加)